右/左　鼠径インターベンションパス　No.2

※　アンギオシール　※

（　　号室）　　様　　歳（男・女）Dr

月　日	月　日（　）		月　日（　）	
	当日　検査後		翌　日	
アウトカム	＃４　動脈性の出血がない　（達成･未達成） ＃６　安静保持に対する苦痛が最小　（達成･未達成） ＃７　安静解除後の注意事項がわかる（達成･未達成）		＃５ 出血以外の合併症がない（達成･未達成）	
時　間				
バイタルサイン R △ / BT ● / P ● / BP ∨ 70 / 40 / 160 60 / 39 / 140 50 / 38 / 120 40 / 37 / 100 30 / 36 / 80 20 / 35 / 60 10 / 34 / 40 ∧				
SPO_2				
アセスメント 胸部症状				
拍動性の出血				
穿刺部痛				
足趾しびれ				
冷感･チアノーゼ				
動脈触知				
安静保時				
処　置　・　検　査	□シリンジポンプ･加圧バッグをカテ室に持っていく □ストッレッチャー(ベッド)で帰室（　：　） □帰室時ＥＣＧ施行 □ＨＲモニター装着 □ｱﾝｷﾞｵｼｰﾙ･ｽｰﾁｬｰ抜糸　Dr（　：　） 抜糸後イソジン消毒キュータス保護 □安静解除後尿バルーンカテーテル抜去可 ※出血時：Drコール		□採血 □穿刺部消毒（深夜Ns施行） (イソジン消毒･カットバン保護) □ECG □HRモニター(要･不要)Dr確認	
注　射　・　内　服 **＊血糖降下薬変更時記入**	□夕食後より抗生剤3錠3×n.2日間内服 □			
食　事	□1･2例目 昼遅食(おにぎり食) □夕食までおにぎり食		□通常通り	
説　明　・　指　導	□安静度・安静解除時間の説明 □変りがあれば直にナースコールするよう説明 □疼痛時、薬が使えることを説明		□２日間重い物を持ったり、和式トイレを使わないよう説明	
安　静　度	□抜糸後よりベッド上フリー（正座は不可） □抜糸後２ｈ（　：　）より元の安静度へ		□指示通り	
清　潔	□清拭		□清拭	
看護特記事項 **※ﾓﾆﾀｰ記録は裏面貼付** **（のりつけすぎ注意！）**			※経過記録へ	
バリアンス	有　・　無	有　・　無	有　・　無	有　・　無
アウトカムナンバー	バリアンス有の時は、該当するアウトカムナンバーを書いてください。			
各シフト担当看護師ｻｲﾝ	日　勤	準　夜	深　夜	日　勤

２００６．８．２４　函館市医師会病院　循環器科